



## JRダイヤ改正に係るJR西日本への要望について

令和4年1月27日

本部事務局

### 1. 背景・趣旨

これまで各府県において、公共交通の利便性向上や維持確保のため、ハード、ソフトの両面からJR各線の機能強化を進めているところだが、令和3年12月17日にJR西日本から、令和3年10月のダイヤ改正に引き続き、令和4年3月のダイヤ改正においても、全てのエリア・時間帯において、利用減少にあわせてダイヤの見直しを実施する旨が発表された。

また、令和3年末に、JR西日本長谷川一明代表取締役社長から報道機関に対し、輸送密度2,000人以下の路線を見直しする方向性が公表されるなど、急進的な合理化が、地方路線の維持存続に対して影響を及ぼすことが懸念される状況である。

今回発表されたダイヤ改正や一部報道での路線見直し方針などは、広域連合の広域交通インフラの根幹に影響し、関西全体の活力低下につながるものと考えられるため、広域連合としてJR西日本への要望を実施する。

### 2. ダイヤ改正の発表等の内容

#### <令和4年3月ダイヤ改正>

全てのエリアで各時間帯の利用状況にあわせてダイヤを大幅に削減。

(30路線計206本を減便。区間短縮を含めると計533本が対象。)

#### 【路線】

琵琶湖線、湖西線、草津線、JR京都線、嵯峨野線、学研都市線、大阪環状線、JR神戸線、山陽線、JR宝塚線、加古川線、姫新線、大和路線、阪和線、万葉まほろば線、和歌山線、きのくに線、山陰線、境線、因美線、伯備線、瀬戸大橋線、山陽本線、赤穂線、津山線、七尾線、呉線、可部線、美祢線、山口線

#### <路線見直し方針>R3.12.29 新聞等報道

輸送密度2,000人以下区間で優先的にサービスを見直す考えを明らかにした。

#### \*参考:JR西日本支社再編検討 R4.1.12 新聞等報道

福知山支社と和歌山支社の機能の一部を大阪市の「近畿統括本部」に集約検討。

米子支社と岡山支社の機能の一部を広島市に新設する「中国統括本部」に集約検討。

鉄道運行に関わる部署や地域との窓口になる部署は存続させる方針。

### 3. 要望活動

- ・時期：調整中
- ・要望内容：地元自治体への十分な説明  
利用者利便性への配慮  
新型コロナウイルス感染症収束後のダイヤ復活 等
- ・その他詳細は調整中



## 要 望 書

貴社におかれましては、日頃より鉄道事業の安全の確保と利用者への安定した輸送サービスの提供にご尽力いただいておりますことに対して厚くお礼申し上げます。

さて、鉄道は、府県市民の生活や地域の産業を支える重要な交通機関であるため、昨年12月17日に発表された令和4年3月に実施される現行ダイヤの減便や区間短縮、また、一部報道での路線見直し方針などは、日常の移動に公共交通を必要としている府県市民や、公共交通を利用して来訪される観光客の利便性を低下させ、さらなる利用者の減少を招くものであり、地元自治体の生活基盤を揺るがしかねず、ひいては関西全体の活力低下につながりかねません。

つきましては、新型コロナウイルス感染症により社会経済活動全般が大きな影響を受けたことにより、貴社におかれましても非常に厳しい経営環境にあるということは重々理解しておりますが、昨年7月の要望に引き続き、下記の事項について特段の御配慮を賜りたく、再度、ここに強く要望いたします。

### 記

- 1 ダイヤ改正については、利用者はもちろん、地元自治体への事前周知・説明を十分に行い、協議の場を設けるなど、理解を得られるよう、引き続き努めること。
- 2 令和4年3月のダイヤ改正において、運行間隔が大幅に拡大されるエリアの列車の減便や区間短縮を見直すなど、利用者の利便性に十分配慮するよう、努めること。
- 3 やむを得ず減便や区間短縮をする場合であっても、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う暫定措置とし、コロナ収束後は、地元自治体などと協力し、速やかにダイヤの復活に向け取り組むよう、努めること。
- 4 令和4年3月のダイヤ改正に加え、輸送密度2,000人以下区間の路線見直しや支社再編などが報道されているところであるが、今後、急進的な合理化が地方路線の切捨てにつながらないよう、地元自治体との事前協議の場を設けるなど関係者と密に連携協力し、必要な地域交通の維持や利便性の向上に取り組むよう、努めること。
- 5 このコロナ禍においては、今後も引き続き、国の「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」を踏まえた府県市の協力依頼等について配慮するよう、努めること。

令和4年 月 日

西日本旅客鉄道株式会社

代表取締役社長 長谷川 一明 様

関西広域連合

広域連合長 仁坂 吉伸